

校訓

- 「自立」 — あらゆる障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立を図る
 「信愛」 — 信頼と愛情をもって心豊かな人間となる
 「創造」 — 明るい社会と新しい自分を創造する

学校教育目標

肢体不自由のある生徒に対し、一人一人のニーズに対応した教育を行い、生徒が主体的に社会参加するために必要な知識、技能を培うために、次の目標を掲げ、その達成に努めます。

- | | |
|-----------------------|------|
| 1 心身共に健康で、自ら鍛える生徒 | 【基本】 |
| 2 知性を磨き、主体的に考え判断する生徒 | 【知】 |
| 3 情操豊かで、相互に敬愛し合う生徒 | 【情】 |
| 4 強固な意志を培い、目標達成に努める生徒 | 【意】 |
| 5 自己実現を志向し、自立できる生徒 | 【自立】 |

基本理念

- 生徒にとっては、「わかる授業、楽しい学校」
- 保護者にとっては、「安心できる学校」
- 教職員にとっては、「働きがいのある学校」
- 地域にとっては、「頼りがいのある学校」
- 関係機関にとっては、「連携のとりやすい学校」

Well-being の向上

目指す姿 ～生徒・職員・学校～

高等学校に準じた教育を通して、確かな学力と主体的に学びに向かう力を身に付ける

共生社会の一員として、より豊かに幸福に生きていくための資質、能力、意欲を高める

学習上及び生活上の困難や課題を改善し、自己実現を図るための力と心を培う

学び合いと育ち合い × 学び続ける心と力

☆資質・能力の伸長を図る 学習指導の充実	☆寄宿舎における 生活指導等の充実	☆4つの学科の専門性を生 かした教育の推進	☆キャリア教育の 推進と充実
生徒が「学びを実感できる授業」の展開 教科等横断的な視点をもち生徒の資質・能力の育成につながる教育活動の充実 自立活動との関連を図った教科指導の充実	生徒の障がいの特性や発達段階、生活年齢等に応じた指導・支援の充実 自立的な生活に必要な力や社会性等を育てるための生活指導、余暇活動、外出の機会等の充実	各学科の専門性を生かし、キャリア教育との関連を図った特色ある教育活動の充実 生徒の学習意欲を高め、自己実現を目指す教育の推進	生徒の実態・適性や進学の希望等に応じ、時代の方向性を見据えた多様な進路や働き方を実現するための計画的・組織的なキャリア教育の推進 自己理解を深め、自己実現をめざす教育活動の充実
☆自立活動の指導の充実 (学校生活全体及び自立活動の時間で指導)	・自己の身体機能等の理解、将来のライフスタイルや必要となる社会性などをとらえたセルフケア等の力を育む自立活動の指導の充実 ・学習上・生活上の困難を改善するための自己調整力や環境調整力の育成		
生徒の資質・能力の育成につながる教育課程の検証・改善 生徒が主体となって探究的に学ぶ授業づくり バランスのよい「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 自己実現や社会の創り手として必要な資質・能力を育成するための社会とのつながりの充実			

☆学びの土台づくり

本校の教職員に求められる力
(本校教職員としての専門性向上)

- ・教育的愛情と高い人権意識による人間関係形成と指導の力
- ・教科指導力及び個々の指導・支援への専門性
- ・社会生活、社会参加を見通した自立活動の指導に関わる専門性
- ・人間性、主体性を育むための生徒理解と対応力
- ・協働し、学び合いと高め合いを有する業務推進力と組織運営力

令和7年度の重点

自立した社会参加と自己実現に向け、一人一人の意欲と可能性を引き出し、
これからの社会を生きていくための資質と能力、心を育てる。
～ “生徒が主語”となる教育活動の充実と教育課程の改善への取組～

教育活動について

- (1) 一人一人の育成すべき資質と能力を明確にとらえ、現行カリキュラムの課題を明らかにした教育課程の検証・改善に取り組む。
- (2) 「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」を基に、一人一人の力を伸長する学習指導を充実させる。
- (3) 各学科の専門性を生かし、社会生活に生かすとともに働くために必要な知識・技能の習得と学習意欲の向上を図る。
- (4) 教科等横断的視点に立った学習指導の展開や探究する力を育む授業づくりを通し、生徒個々の学力を高める。
- (5) ICT の積極的、効果的な活用を図り、生徒が「わかる授業」「学びを実感できる授業」を通して、個々の生徒に必要な基礎学力や応用力、情報活用能力、学びに向かう力の育成を推進する。
- (6) 社会や世界とのより広いつながりを意図し、生涯学習にもつながる体験活動や社会参加を推進する。
- (7) いじめ・体罰等のない、個々の人権と尊厳を尊重した教育環境を整え、教育活動全般を通して生徒の自己肯定感を高め、積極的な姿勢や協力・協働する態度、道徳性を高める。
- (8) 生徒の社会的・職業的自立を含めた社会参加に向け、キャリア発達を促す教育活動を推進する。
- (9) 家庭、地域社会、関係機関等との連携を深め、これからの時代や社会を見据えた進路に関する幅広い学習や取組となるよう精選を図り推進するとともに、情報提供の充実を図る。
- (10) 一人一人の障がいの状態や特性等を把握し、「自立活動の個別の指導計画」を基に、教科等との関連を踏まえながら、個々の生徒が、将来の生活を見通し、身体の動きやコミュニケーションなどの課題に主体的に取り組む力と姿勢を育てる。
- (11) 寄宿舎の指導において、「個人別支援計画」を基に生活指導等を充実するとともに、余暇活動・外出等を工夫し、個々の生徒の生活する力、人との関わりやコミュニケーション力の育成を図る。
- (12) 健康の保持・増進や基本的生活習慣を確立することにより、卒業後の生活に向けた健康の基盤づくりや生徒の自己管理能力の育成を図る。
- (13) 健康教育、安全教育を充実させ、理解と適切な判断・行動力を育成する。ネットリテラシーをはじめ社会生活に求められる望ましい行動実践力を高める。
- (14) 地域の諸学校や団体等との連携、岩見沢市との結びつきを深めるとともに、交流及び共同学習やスポーツ・文化活動への参加などを通して、生徒の社会性や豊かな人間性、地域貢献意識の育成を図る。

経営活動について

- (1) 教職員一人一人が学校運営の担い手として主体的な参画意識をもち、自己の業務の確実な推進と教職員相互の協力、協働や協働性を生かした組織運営に努める。
- (2) 生徒が安全で安心な学校生活を展開するために、教務・舎務・事務が連携した持続可能な教育環境整備、人権意識をもった指導や業務への対応など心理的安全性の醸成に努める。
- (3) 学校教育目標の達成に向けて、生徒や地域の状況を踏まえたカリキュラム・マネジメントを継続し、教育課程の検証や改善、寄宿舎の生活指導等の日常的な改善・充実を図る。
- (4) 教職員それぞれの職能や実践力向上のため、研究や研修を充実させ、専門性と実践力、業務推進力を高める。
- (5) 地域の教育資源や人材等を活用し、多様な経験や人との関わりを拡げる活動を推進する。
- (6) 学校運営協議会運営を充実させていくとともに、保護者や地域に対して学校の教育活動について積極的な発信を行い、協働性を高める取組を進める。
- (7) 危機管理に対する意識を高め、保護者や地域と連携した危機管理体制整備や改善を継続的に進める。
- (8) 地域の特別支援学校として、管内の特別支援学校等と連携を図り、特別支援教育のセンター的機能の一層の推進と充実を図る。
- (9) 個々の働き方及び部署ごとの業務推進・連携を改善し、協働を根幹とした上での業務のスリム化や必要な方策等を検討し、生徒に関わるための直接的な時間を生み出す。
- (10) 校務DXによる業務の円滑化や協働化を進める。
- (11) 教育課程を含めた本校の在り方について、学校課題の整理と「長期的・短期的・現状で可能な改善」の視点から考えていく。

教 務 <学級・学年・学科など>	舎 務 <寄宿舎>
そのために… 共通理解(意識)・協働体制(組織)の充実～連携できる組織の担い手・創り手に～ ＊日常的な情報共有、確認、伝達の確実性の向上 ＊連携充実のための組織運営の改善と工夫 ＊働きやすい環境の見直しと実践 ＊一人一人の人権及び尊厳尊重の意識をもった指導の追究と業務推進 1 授業改善の推進 ・学習指導要領の理念に基づき、生徒が「学びを実感できる」授業づくり ・教科横断的な視点からの授業づくりの推進 ・ICTの積極的かつ効果的な活用 ・総合的な探究の時間、特別活動の見直しと充実 2 研究・研修の充実 ・校内研究の計画的な推進 ・外部講師等の効果的な活用による研修の充実 ・校内授業参観及び各種研修会等への参加促進 3 自立活動の指導の充実 ・各教科及びキャリア教育との関連を重視し、教育活動全般の中で課題の改善が図られる指導の充実 4 生徒指導の充実 ・学級経営、学年経営の充実 ・学年、寄宿舎、校内関係部署、保護者、関係機関等と連携を図った、効果的な生徒指導の実施 ・SNSなど情報モラル教育の効果的な推進と教職員・保護者研修の実施 ・適切な生徒理解に基づいた発達支持的指導の工夫と改善 5 キャリア教育の推進 ・個々の進路実現に向けた指導と情報提供の充実及び卒業後への移行支援 ・保護者や関係機関等と連携した、社会人に必要なマナー等の習得や経験など、計画的な指導の実施 ・同世代との交流及び共同学習をはじめ、社会とつながる教育活動の実施、等 ・キャリア教育全体計画の再編 6 健康安全教育の充実 ・自己理解や自己の健康、課題等について向き合う姿勢や正しい知識、対応について学ぶ機会の充実 ・食に関する指導の充実による自己管理能力の育成 等 7 スポーツ・文化活動の推進 ・関係団体等と連携した障がい者スポーツの推進 ・高文連等や各種大会参加、作品発表等の促進 ・ICT技術等を活用した遠隔交流の経験 8 カリキュラム・マネジメントの推進 ・PDCAサイクルに基づいた教育課程の管理と中間検討に基づく改善への取組 ・各部署や会議等の役割と関連性の整理	
9(教務) / 5(寄宿舎) SDGs・ESD の推進 ・自分たちの生活や社会を見つめた地域貢献や社会貢献への取組 ・地域資源や地域教育力の活用をとおした社会とのつながり ・探究的視点をもった実践的学びと行動の醸成 10(教務) / 6(寄宿舎) / 4(事務) 学校DXへの取組	
事 務	
1 安全な教育活動のための環境整備 2 学校予算の適正執行 3 SDGsの推進	

研究主題

「卒業後の進路実現、自己実現を見据えた「育てたい力」の育成」
～系統的な学習内容の整理及び生徒の実態に応じた目標設定を通して～